

次世代の育成と 2年連続金賞へ

わにぶち てっぺい
鰐渕 鉄平さん

2月に開催される北海道管楽器個人コンクールに3年連続で札幌地区代表として出場し、2年連続の全道大会金賞を目指す、当別アンサンブルファミリーのトロンボーン奏者、鰐渕鉄平さんにお話を聞きました。



姉・兄の後に続いて

中学に入ってどの部活をやるか考えたときに、音楽に全く興味がなかったですが、姉や兄がやっていた吹奏楽部に入部することにしました。始めは譜面を読むこともできなかったのとても大変でした。当初はチューバを担当していましたが、楽器編成の組み直しでバストロンボーンを担当することになりました。今考えると兄がトロンボーン奏者だったので、そのことを知っていた顧問の先生が、何とかなるだろうと思っていたのではないのでしょうか。しばらくバストロンボーンでしたが部員の減少で、少ない人数で音域を確保する必要があったため、テナートロンボーンに変更しました。高校でも吹奏楽を続け、卒業と同時に現在の職(当別消防署職員)に就き、兄が団長の吹奏楽団当別アンサンブルファミリーに入団しました。

中学生への指導と世代間交流

アンサンブルファミリーは、ふれあい倉庫がメインの練習会場で、駅から近い

ため現在の団員は約半数が町外在住者です。多くの団体が土曜日の練習としている中、私たちの楽団は日曜日に練習しているので、土曜日に仕事がある方でも参加できます。現在、夏至祭や定期演奏会など楽団単体として活動する他、当別中吹奏楽部との合同演奏会も行っています。合同演奏会の目的は、中学生への技術指導と世代間交流で、社会人になった時に一緒に活動してもらえたらいいなあと考えています。自分が中学生のころに比べると部員も少なく、部の存続を心配しています。部活動は礼儀や協調性、感謝の気持ちなど授業では学べないことを学べる場だと思っています。合同練習での技術指導は当然ですが、挨拶や礼儀、取り組む姿勢について、私は厳しく指導しています。



中学生との合同練習中の鰐渕さん

全道連覇で兄を超えたい

10年程前に兄が北海道管楽器個人コンクールで金賞をとりました。これに刺激を受け、兄には負けられないという気持ちが湧き、朝の出勤前など限られた短い時間を使って、必死に練習を重ねました。平成27年の第51回北海道大会にバストロンボーンで出場するも惜しくも銀賞。何としても北海道大会での金賞をと思い、音域が広く曲のレパートリーも多いテナートロンボーンに変え翌年の第52回大会に挑み、金賞をつかみ取ることができました。バストロンボーンでも同じ賞を取りたいと思い今年第53回北海道大会札幌地区予選に出場し、3年連続で北海道大会への切符を手に入れることができました。一昨年のリベンジを果たすべく2年連続の金賞を目指して全力を注いで挑みたいと思います。

2月19日江別市民会館で開催される全道大会での2連続金賞を目指す鰐渕さん。今後もその技術を後輩たちに伝えてくれることでしょう。(1月18日取材)